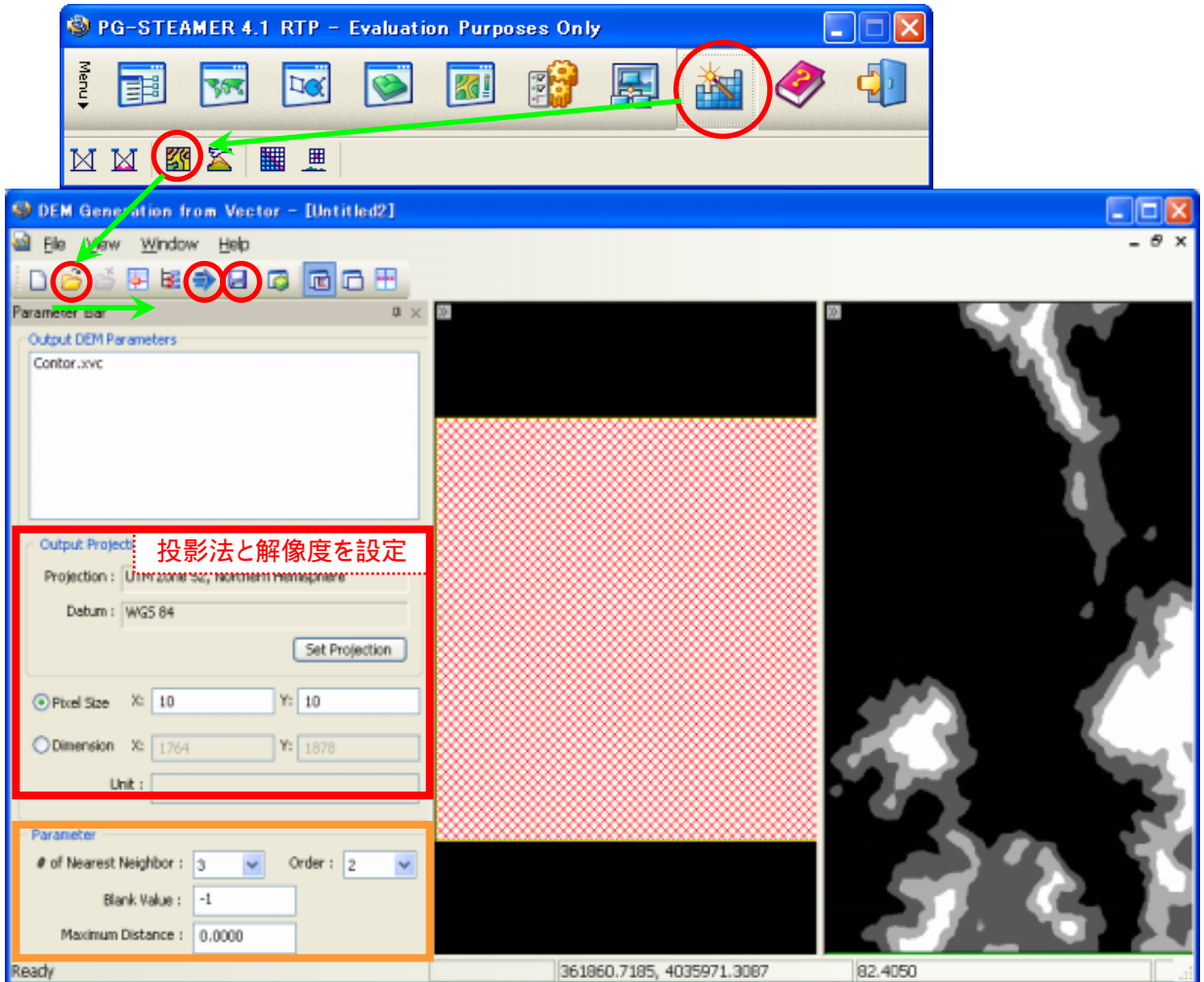


## 等高線・XYZ点群データからのDEM生成:

等高線ポリゴンデータや、レーザプロファイラで取得したXYZのテキスト点群データから、DEMを生成します。

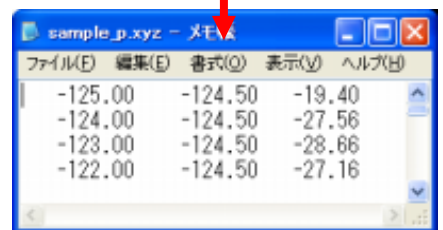


- から等高線ポリゴンかXYZ点群テキストデータを読み出します。データ形式は「ファイルの種類」から選択。点群データがAscii XYZ形式の場合、X Y Zの値がスペース区切りになっているテキストデータとなります。

- “Parameter”欄 から、生成する際の統合値や空白部分の値を設定できます。

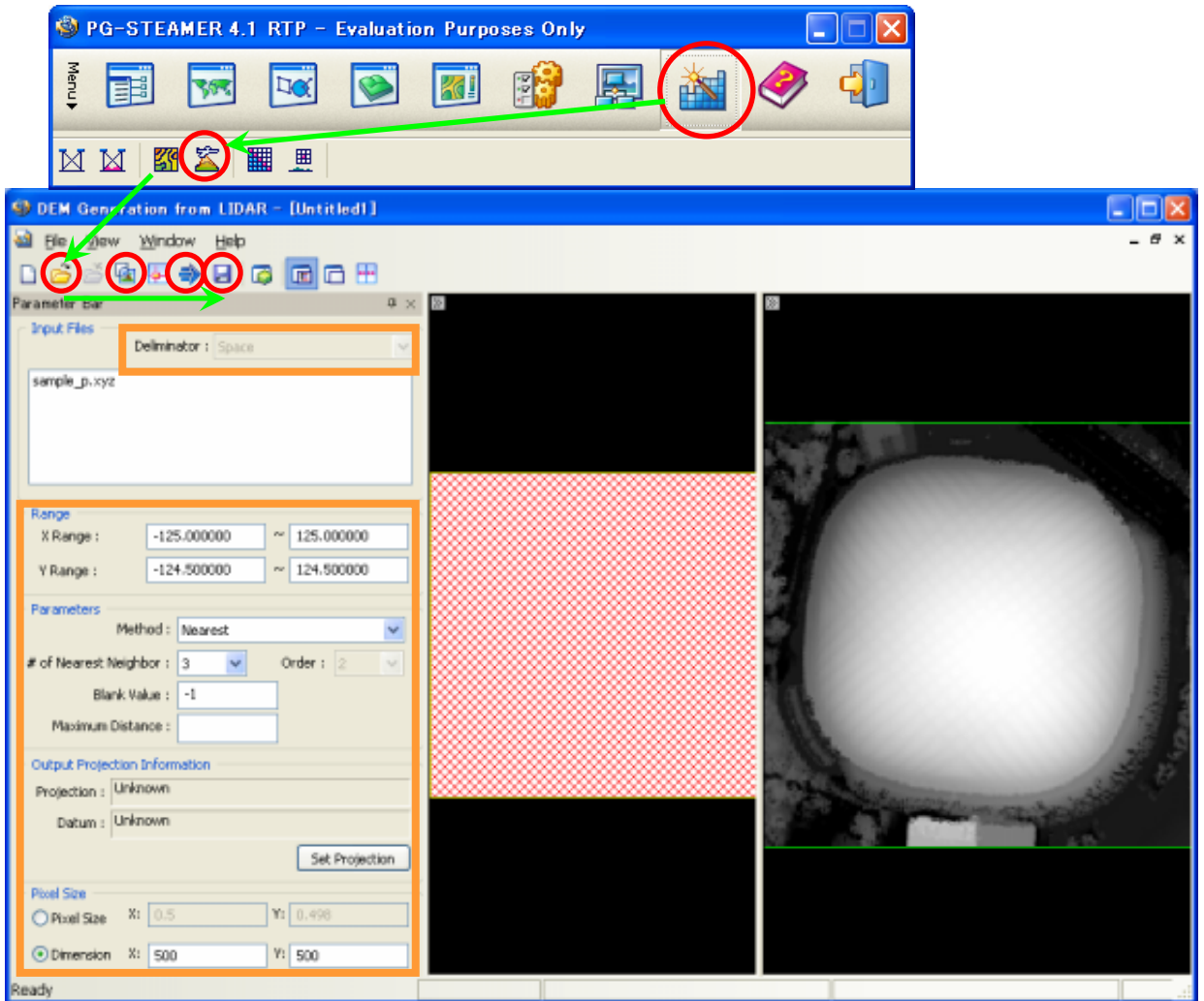
- で処理実行、で結果を保存します。




例



## ・ ライダー点群データからのDEM生成:

こちらは、前項 よりもさらに点群データからのDEM生成に特化しており、より多くの点群データ形式に対応しております。 ASCII XYZ、ASPRS LAS、TerraScan Binary、KoreaNGI Lidar など。

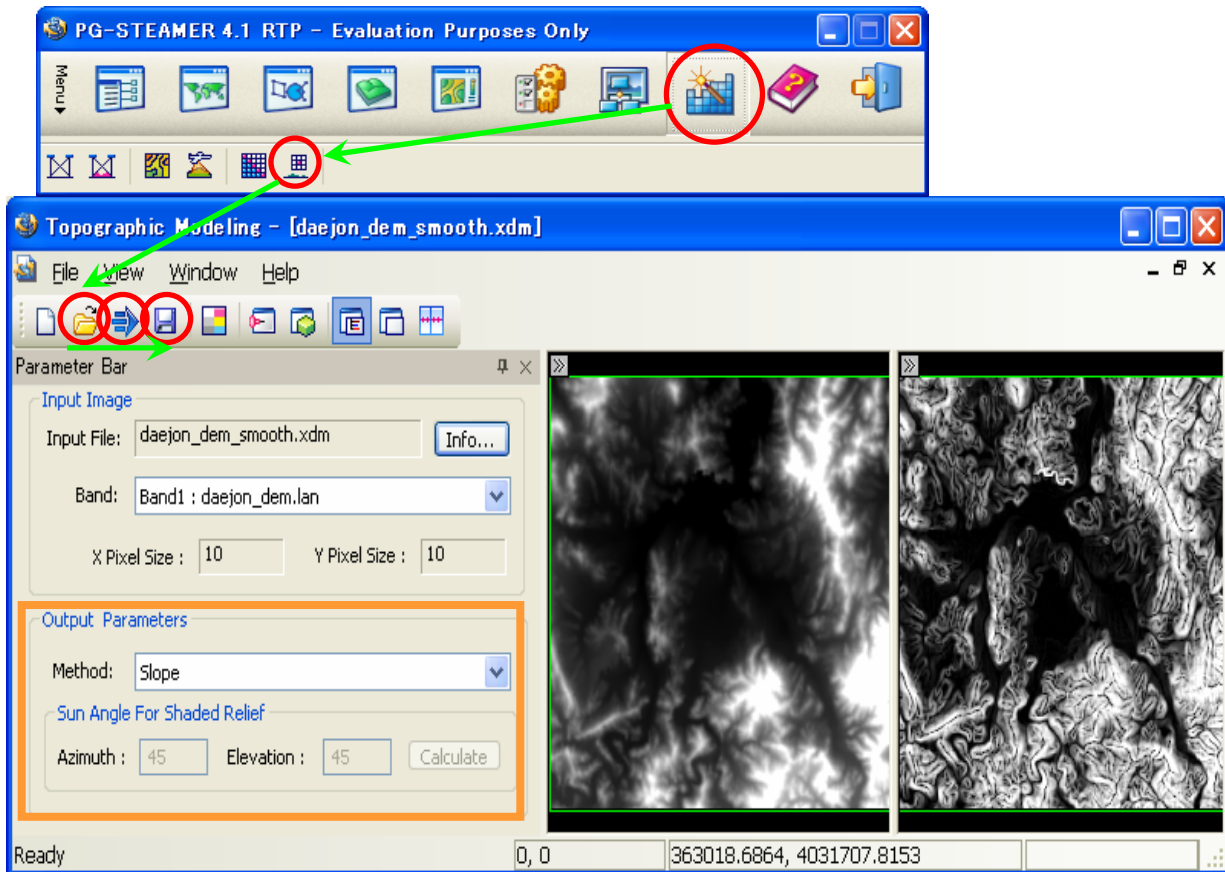





- ・  からライダー点群テキストデータを読み出します。データ形式は”ファイルの種類”から選択できます。テキストの形式(Tab、Semicolon、Comma、Space)は、”Input File”欄”Delimitator” から選択できます。
- ・ ”Parameter”欄 から、処理手法、空白部分の値、投影法などの設定ができます。
- ・  で処理実行、  で結果を保存します。

\* こちらで使用した東京ドームのライダー点群データは、ユーザの朝日航洋株式会社様のご好意とご提供により掲載しております。 同社<http://www.aeroasahi.co.jp/good-3d/download.html>にて掲載のデータです。

## ・ トポグラフィック解析:

標高データから、Slope、Aspect、Shaded Relief画像を生成します。



- ・  から標高(DEM)データ呼び出します。
- ・ “Output Parameters” 欄で、処理後に結果として右ウィンドウに表示されるモデルを選択します。処理自体は、Slope、Aspect、Shaded Relief すべて一度におこなわれ、すべて一度に保存できます。
- ・ “Output Parameters” で、“Shaded Relief”を選択したときのみ、“Sun Angle For Shade Relief”枠が利用でき、から日射角計算などが実行できます。
- ・  で処理実行、 で結果を保存します。